

自由詠



淡くニィニィぜみの
声ながれ
くぐもる空
夏へと
ふうっと息する

高原 美智子

私の年齢は
私の私物
断りもなく
公開するな
と言いたい人がいる

田上 好江



気が遠くなる
時を超えて
光りは
地球にとどく
人間のこまいこと

岡本 まや子

ペタペタペタ
孫の足音
廊下に響く
さあ、そろそろ
起きるとしましょ



杉下 啓恵

誕生日
還暦から先は
歳はとるもの
60歳 59歳 58歳・・・
今 私は43歳 いいでしょう

杉本 明美

空から主人の
お褒めの言葉が
降ってくるかな？
私なりに頑張っ
て生きていますよ



松本 晴美

「失明の怖れ」と言われ 不安の日々
友に背中を押され 大きな病院へ
レーザー治療終わりましたよと 先生の声
目を開けたら ちゃんと見え
様様楽しめる 嬉しくてたまらない

大槻 幸子

貴重で厄介な
雨
多すぎても
少なすぎても
命脅かされ

かよへえ



題詠 『裸足』

はだしになって
そっと入る
又ルツ 滑りそう
踏ん張り苗を持つ
若き日の田植え

かよへえ



板の間に
はだしの感覚
何だかイイねえ
自分の足で
歩いてる感じ



高原 美智子

丘を裸足で駆け上り
海へと一気に下る
何度も 何度も
行ったり来たり
砂の感触 今も鮮やか

杉下 啓恵

